

WHO ファクトシート

中東呼吸器症候群コロナウイルス (MERS-CoV)

Middle East respiratory syndrome coronavirus (MERS-CoV)

2017 年 5 月

重要な事実

- ・中東呼吸器症候群(MERS)は、2012 年サウジアラビアで初めて同定された新種のコロナウイルス(中東呼吸器症候群コロナウイルス、又は MERS-CoV)によって引き起こされるウイルス性呼吸器疾患である。
- ・コロナウイルスは、通常の風邪から重症急性呼吸器症候群(SARS)まで広い範囲の疾患を引き起こすウイルスの大きな科である。
- ・典型的な中東呼吸器症候群の症状としては、発熱、咳及び息切れがある。肺炎を高頻度に引き起こすが常にみられるわけではない。下痢などの消化器症状もまた報告されている。MERS-CoV 感染を検査室で確認されたいくつかの症例では、無症候だと報告されており、これらの症例では臨床的症状が全くなくても検査室検査で MERS 陽性となることを意味している。このような無症候症例の大部分は、検査室確認症例の積極的な接触追跡の結果で判明している。
- ・MERS 患者と報告された約 35%が死亡している。
- ・MERS のヒトの症例の大部分は、医療現場でのヒト-ヒト感染によっているが、現時点での科学的エビデンスによればヒトコブラクダが MERS-CoV の主要な宿主であり、ヒトの MERS 感染における動物感染源であることが示唆されている。しかしながら、ウイルス伝染におけるヒトコブラクダの果たしている正確な役割や正確な感染経路は分かっていない。
- ・このウイルスは、患者との濃厚接触、例えば患者に防護対策なしで治療に当たるようなことがなければ、簡単にヒトからヒトに感染するとはみられていない。医療関連での流行がいくつかの国で発生しており、その最大の流行はサウジアラビア、アラブ首長国連邦及び韓国でみられた。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Middle East respiratory syndrome coronavirus (MERS-CoV)

ファクトシート原文は [こちら](#)